

# 知事随想



新潟県知事

泉田裕彦

## 環境立県を目指して

現在、地球温暖化問題は世界共通の最重要課題となつていきます。地球温暖化の影響は新潟県の周辺でも海面水温の上昇や漁獲量の変化等にその片鱗が見受けられます。また本県の主要産業である稲作にも大きな影響を及ぼすであろうと予測されています。

こうした中、平成十九年度(二〇〇七年度)の本県における温室効果ガスの排出量は、平成二年度(一九九〇年度)に比べ、一一・一%増加しています。特に民生業務部門・家庭部門や運輸部門での排出量の増加が大きく、温室効果ガスの削減のためには県民、事業者それぞれがライフスタイルやワークスタイルを見直していくことが必要となっています。

新潟県では低炭素社会の実現に向け、地域の総合的・計画的な地球温暖化対策を推進するため本年三月に地球温暖化対策地域推進計画を策定しました。この計画では温室効果ガス排出量の削減を目指し、十三のリーディングプロジェクトを立ち上げ、これを進めています。その中でも「行動機会を提供する仕組みづくり」として取り組んでいるプロジェクトが「新潟県カーボン・オフセット制度」です。

我々人間の活動はさまざまな形でエネルギーを消費し、その中で二酸化炭素を排出しています。まずはこの排出量をできる限り削減することを心がけ、その上でどうしても排出してしまう二酸化炭素に対しては、ほかの対策で得られた吸収量をクレジットの購入という形で温室効果ガス吸収事業等に投資することで、二酸化炭素排出量をオフセット(相殺)しようという仕組みがカーボン・オフセットです。

本県では、まず平成二十年度に佐渡市をモデル地域として「新潟県カーボン・オフセットモデル事業」を実施しました。

そして本年、モデル事業の取組み成果を生かし、新潟県カーボン・オフセット制度の運用を開始しました。制度の実施にあたり、新潟県カーボン・オフセット制度のシンボルマークを公募し、県民投票で決定したところでした。このマークが貼付されている商品等を購入することで、消費者は地球環境にやさしい「カーボン・オフセット商品やサービス」を選択することができるようになっています。またシンボルマークが付いたオフセット商品等が流通することにより、多くの方々がこの制度に親しみ、日常生活の中に定着していくことを期待しています。

現在、本県では二酸化炭素排出削減・吸収プロジェクトの申請を受け付けており、トキの野生復帰の取組みが進められている佐渡での「トキの森整備事業」が、その第一号として登録されています。今後、このプロジェクトにより得られたクレジットを全国の企業などから購入していただき、トキの住みかとなる森林の整備を進めたいと考えています。

昨年九月、初めてのトキの試験放鳥が行われました。十羽のトキが佐渡の空に放たれ、二十七年ぶりに新潟の空を舞うトキの姿は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

そして、本年九月二十九日には第二回目の放鳥が行われ、二十羽のトキが野生へ放たれました。

佐渡ではトキの野生定着に向けて、行政と地元住民・ボランティア等が協力したビオトープ作り、水田での減農薬栽培の推進や、冬期でも水田に水を張り餌場を確保するなど、トキの住める環境整備を行ってきました。この豊かな自然環境を求めて来たのか、コウノトリやタンチョウが飛来したこともあり、こうした活動を通じ、自然環境を維持・再生していくことがいかに大切であるかを、佐渡のみならず県民、そして全国の皆さんに実感していただけているのではないかと考えています。また、こうした取組みの成果の一つとして、減農薬で栽培した佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」のブランド米としての流通も始まり、生産量も順調に増えています。自然に優しい農業を進めていくことが、結果として人の暮らしを豊かにし、そして次の世代に安全で安心な環境づくりの大切さを伝えていく大きな力になっていくと感じています。

かつてトキは里山の中の田畑で餌をついばみ、人間と共に生きてきました。「桃花鳥」と日本書紀や万葉集にもうたわれたトキは、中国では吉祥を呼ぶ鳥とされ、その羽が伊勢神宮に奉納される須賀利御太刀の柄の装飾に用いられてきたことから、美しさの中に敬いの心が込められてきたのではないかと考えます。

ところが農薬や化学肥料の普及に伴う餌場の環境の変化や、田んぼを荒らす害鳥とされ乱獲が続いたこと、つまり人間の影響力が強まったことよって、私たちの暮らしに長く寄り添って共生してきたトキは残念ながら絶滅してしまっただけです。

野生復帰に向けたさまざまな取組みにより、トキが再び自由に大空を舞う姿こそ、人と自然が共生できる社会・自然再生の象徴であると思います。次世代に胸を張って渡せるような自然環境を地域の人々が想いを一つにして築きあげ、人と自然に優しい暮らしが、新潟から世界に向かって広がっていくことになればたいへん嬉しいと思っています。



佐渡の空を舞うトキ  
(写真提供：環境省)

